

## みんなが使える「ものづくり」

事業者のみなさんは、さまざまな利用者の声を取り入れ、だれもが使えるUD商品の開発・普及に取り組んでいます。

みなさんもおうちにあるモノで以前より使いやすくなっているか、考えてみてくださいね。



みなさんは、髪を洗うときに目を閉じたり下を向いたりして、シャンプーとリンス（コンディショナー）を間違えて使ったことはありませんか？

シャンプーの容器には「きざみ」がつけられていて、キャップや本体に触れることで簡単に違いがわかります。もともとは視覚障がいの方に使いやすいように考えられたのですが、みんなに使いやすいものですよ。

右の写真の商品もUDの視点で考えられています。何に使うものかな？  
さまざまな視点から考え、どこが使いやすくなったのか、考えてみましょう！



## 安心・安全で快適な「まちづくり」

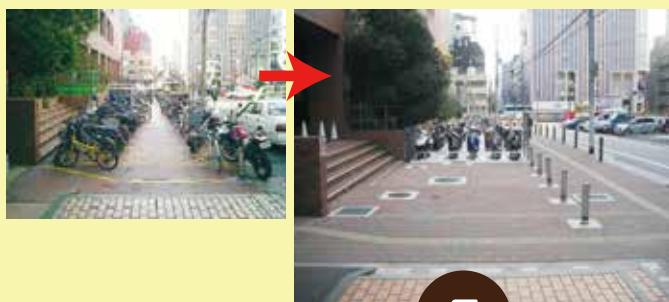
多くの人が利用する施設では、さまざまな利用者に配慮し、誰もが安全・快適に利用できるよう、取り組まれています。

新しく整備されている設備は、どんなところが以前と変わったかな？

駅改札口には幅の広いところがあります。どんな人に使いやすいでしょうか？  
また、どういう時に使いやすいでしょうか？



- ノンステップバスはバス停に止まると、車体がバス停側に傾き、乗り降りがしやすくなります。
- 車内もいろいろな配慮がされています。



だれもが安心して歩ける安全なまちづくりをめざして歩道の再整備を進めています。

歩道と駐輪スペースの区別がつかなかったものが、歩道を広げ、駐輪スペースも整備をし、どちらも利用しやすくなりました。

